

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年3月20日

事業所名 放課後等デイサービス オレンジ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・事業所占有面積を100㎡以上確保しています。	車いすの置き場所を検討し、利用者の過ごしやすさ確保に努める。
	2 職員の配置数は適切である	○		・法令に基づき適切に配置しています。 ・利用時の特性に応じて増員しています。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		・入り口部分はスロープを完備しています。 ・事業所内は完全バリアフリーです。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		都度問題解決、改善を行っている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・年度に1度以上、評価表を活用したアンケートを実施し、改善に努めています。	事業所内での共有を行い、保護者への周知できていない部分などはお便りを通し、再度周知していく。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・自社ホームページにて公開しています。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			外部研修への参加の促している。 併設事業所の合同研修を行い、意見交換の場をつくっている。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		・保護者や他利用事業所との情報の共有などを通して、適切な分析を行い、計画に反映しています。	継続して保護者や関係機関と連携を取りながらサービス計画の作成に努めていく。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・標準化したアセスメントシートを使用しています。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・事業所全体でプログラムの立案を行なっている。	チームアプローチを心掛け、日々取り組める支援の検討を行っている。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・各所から情報を仕入れ、プログラムが固定化しないよう努めています。	各スタッフから意見を取り入れながら活動内容を決めている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			利用者の日々のスケジュールに沿った流れで対応できるように心がけている。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		・ご本人の特性に応じた計画の作成を行なっています。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・併設2事業所と合同朝礼を実施している。	事業所ミーティングを行いながら、当日の利用者の状況把握を行う。 体調の変化などに合わせ、事前に保護者と連絡をとりながら本人の体調面での共有を行っている。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・必要に応じて実施している。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・個別支援計画書に沿って記録を取り、支援の検証・改善を行なっている。	利用者の担当制を設け、詳しく記録が残せるように対応している。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			個別支援計画、モニタリング時期に沿って保護者への説明を行っている。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		・必要に応じて適切に連携しています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		・医師の指示書を頂き、必要な場合に連絡できる体制を整えています。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		・保護者を通じて、必要に応じて提供していただきます。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		・ご希望に応じて、情報の提供ができる体制を確保しています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		あいあいセンターをはじめとして、福岡市などの専門機関の研修に職員が参加しています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		感染対策より外部のとの接触は控えて欲しいとのお言葉を頂いている。感染状況を見て事業所の判断、保護者への事前報告を行いながら今後検討していく。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		基幹相談へ相談しながら、医ケアのネットワーク会議に参加。今後も情報共有を行いながら、連携を図っていきたい。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・連絡帳や送迎時に情報の共有や共通理解を持てるようにしています。	保護者からの相談は都度連絡いただいている。学校や近隣の事業所での様子など聞くことができる。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		・必要に応じて支援・助言などを行っています。		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・契約時に説明しています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・必要に応じて支援・助言などを行っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・年に1度以上開催できるよう努めています。	感染対策を踏まえたうえで、保護者のニーズに合わせ実施を検討していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・都度、対応しています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・事業所だよりや、ホームページを通じて発信しています。	HPのQRコードをお便りに掲載しHPの周知を図る。
	35	個人情報に十分注意している	○		・十分に注意して取り扱っています。 ・社内全職員に対して、雇用時に個人情報保護に関する宣誓書を取っています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・コミュニケーションボードなどの活用をしています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		コロナ禍の中で感染対策予防の為、出来るだけ外部との接触を少なくしている。安心できる状況と判断した際は外部への働きかけを行う。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		・策定し周知に努めています。	保護者へは事業所お便りにて、周知していく。 マニュアルの変更やBCPについては職員への周知も行っていく。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・法令に基づいて、利用者様と一緒に実施しています。 ・消火訓練は、コロナウイルスの状況を見ながら、利用者を含めた避難訓練を検討中です。	ほ応危機管理委員会をもとに、避難訓練の実施、事業所設備の確認を行っている。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・年に1度以上実施しています。	虐待防止委員会にて合同研修、セルフチェックを行い、虐待防止への知識の再確認を行っている。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		・契約時にご説明しています。 ・特性上、可能性が高い場合は、繰り返しご説明し、計画にも記載します。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		・必要に応じて医師の指示書を頂きます。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・事故防止委員会にて事故防止に努めている	ヒヤリハットの定着化を心掛け、声掛けを行っている。